北九州工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	生産デザイン工学特別研究Ⅱ

科目基礎情報

科目番号	0013	科目区分	専門 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	学修単位: 3
開設学科	生産デザイン工学専攻	対象学年	専1
開設期	後期	週時間数	3
教科書/教材			
担当教員	松嶋 茂憲,浅尾 晃通,安信 強,桐本 賢太,太屋岡 篤憲,永田 康久,加島 篤		

到達目標

学んだ知識や技術を活用して、答えのない問題に対して解を見出すことができる。C②③④,D①②③④,E②,F②③, G①②

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	考慮すべき制約条件とテーマとの関係を具体的なデータ等を用いて説明できる	考慮すべき制約条件とテーマとの関係を説明できる	考慮すべき制約条件とテーマとの関係を説明できない
評価項目2	課題解決に必要な知識・技術を理解し、解決策を説明できる	課題解決に必要な知識・技術を理解し、解決策を説明できる	課題解決に必要な知識・技術を理解し、解決策を説明できない
評価項目3	課題解決のための計画を立案し、実行できる	課題解決のための計画を立案できる	課題解決のための計画を立案できない
評価項目4	実験・調査結果についてデータを示しながら議論できる	実験・調査結果について議論できる	実験・調査結果について議論できない
評価項目5	成果を分かり易く発表でき、質問にも明快に答えられる	成果を分かり易く発表できる	成果を分かり易く発表できない
評価項目6	自主性を持ちながら、他の学生や教員・スタッフと協働できる	他の学生や教員・スタッフと協働できる	他の学生や教員・スタッフと協働できない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	教員の指導の下、専門分野的・社会的に意味があり、複雑で理解が容易ではない現象やシステムなどを研究対象とし、学んだ知識や技術を活用して、答えのない問題に対して解を見出す。生産デザイン工学特別研究Ⅱでは、生産デザイン工学特別研究Ⅰで示した研究計画を実施して得られた成果と、その結果を受けて改善した生産デザイン工学特別研究Ⅲ以降の研究計画を立案し報告する。
授業の進め方・方法	教員の指導の下、生産デザイン工学特別研究Ⅰで作成した研究計画に沿って実施する。
注意点	進捗状況を週報または月報として教員に報告し、それを起点として議論を深めていくので、自主的な取組みが最も重要である。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	研究の実施	課題解決に必要な知識・技術を理解し、解決策を説明できる
		2週	研究の実施	課題解決に必要な知識・技術を理解し、解決策を説明できる
		3週	研究の実施	課題解決に必要な知識・技術を理解し、解決策を説明できる
		4週	研究の実施	課題解決に必要な知識・技術を理解し、解決策を説明できる
		5週	研究の実施	課題解決に必要な知識・技術を理解し、解決策を説明できる
		6週	研究の実施	課題解決に必要な知識・技術を理解し、解決策を説明できる
		7週	研究の実施	課題解決に必要な知識・技術を理解し、解決策を説明できる
		8週	研究の実施	課題解決に必要な知識・技術を理解し、解決策を説明できる
	4thQ	9週	研究の実施	研究で得られた結果を整理し，文献等を参考に考察・検証できる
		10週	研究の実施	研究で得られた結果を整理し，文献等を参考に考察・検証できる
		11週	研究の実施	研究で得られた結果を整理し，文献等を参考に考察・検証できる
		12週	研究の実施	研究で得られた結果を整理し，文献等を参考に考察・検証できる
		13週	学外発表会資料作成	成果を分かり易く発表できる
		14週	学外発表会	成果を分かり易く発表できる
		15週	学内発表会資料作成	成果を分かり易く発表できる
		16週	学内発表会	成果を分かり易く発表できる

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	学内成果発表会	学修・探究の課程	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	70	0	0	0	0	100

基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	30	70	0	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0